



Amazon CloudWatch RUMの ご紹介

Amazon Web Services Japan
Solutions Architect
金成 忠樹
2022/1/27



自己紹介

金成 忠樹 (Kanenari, Tadaki)

所属 :

アマゾンウェブサービスジャパン技術統括本部
ソリューションアーキテクト

好きなAWSサービス :
Amazon Kendra

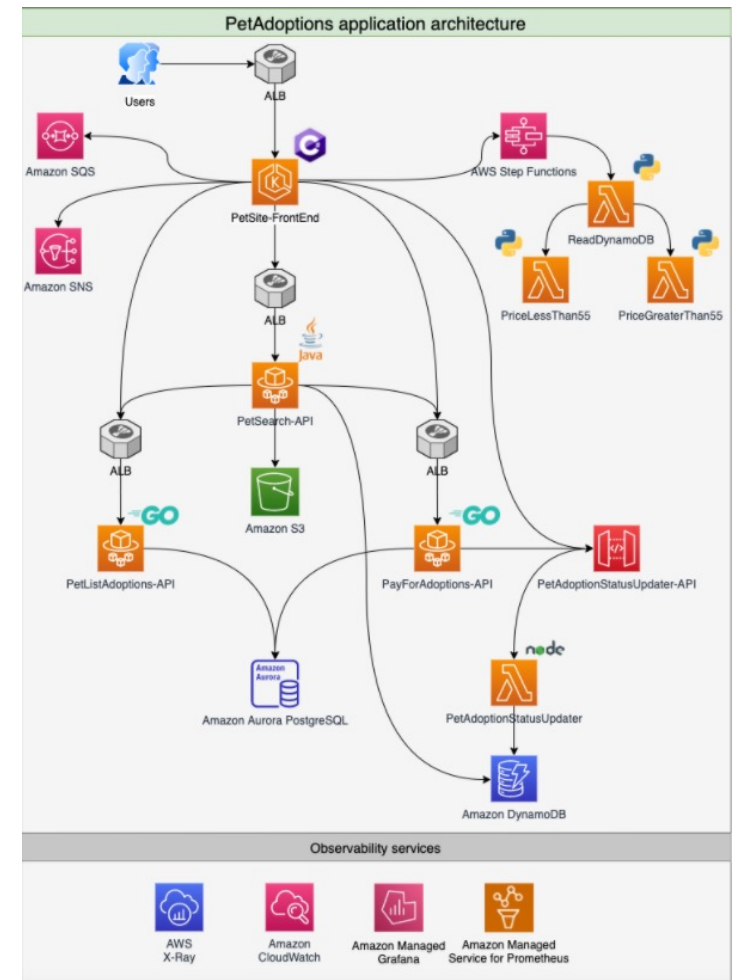


アジェンダ

- One Observability Workshopのご紹介
- Amazon CloudWatch RUMのご紹介
- Amazon CloudWatch RUMのデモ

One Observability WorkshopにCloudWatch RUMが追加

Workshopを実施することで、
the pet adoption websiteのRUMでの監視が行えます。
JavaScript code を the PetSite applicationに追加し、
デプロイし、リアルユーザーの状況を監視できます。



※2022/1月時点ではRUMとEvidentlyは日本語未対応
により、下記URLから英語版をお試ください。

© 2021, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates.

<https://catalog.us-east-1.prod.workshops.aws/v2/workshops/31676d37-bbe9-4992-9cd1-ceae13c5116c/en-US/rum>



CloudWatch RUM (Real User Monitoring)

Webアプリケーション(ブラウザ上)で動作するクライアントモジュールにより、ユーザーの振る舞い・体験に関わるデータを吸い上げて分析・可視化



CloudWatch RUM – 認証(Cognito IDプール)

RUM Webクライアント(cwr.js) は Cognito IDプール(自動作成)から未認証ユーザー用ロールの一時クレデンシャルを取得してデータを送信

認証されていないIAMロール
の権限を利用

IDプールの編集

このページからは、IDプールの詳細を変更できます。IDプールには、一意の名前と、認証されたロールおよび認証されていないロールのセットが必要です。ロールはIDプールで保存され、ユーザーの承認リクエストを受け取るたびに、ここで指定されるロールが自動的に利用されます。Amazon Cognito クライアント SDK を初期化するときに、このページから IDプールの ID を指定する必要があります。Amazon Cognito での IAM ロールの使用に関する詳細を参照してください。

IDプール名* RUM-Monitor-us-west-2

IDプールのID ⓘ us-west-2:547d35cc [redacted] -54ad19d24ac7 (ARNの表示)

認証されていないロール ⓘ RUM-Monitor-us-west-2- [redacted] -29 61-Unauth ▾ 新しいロールの作成

Amazon Cognito IDプール

(「RUM-Monitor-<region>-<accountId>-<UniqueId>」)

① Cognito IDプールにリクエストし、sts:AssumeRoleWithWebIdentityアクションの呼び出し許可を得る

② AssumeRoleWithWebIdentity APIを呼び出し STSから一時的なクレデンシャルを取得 (対応するアプリケーションモニターに対してのみの rum:PutRumEventsアクションが許可)

③ PutRumEvents APIでRUMメトリクスデータを送信



AWS Security Token Service (STS)

アプリケーション
モニター

1対1で対応

Webクライアント
バンドル(cwr.js)



CloudWatch RUM

© 2021, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. ※補足 : 認証ユーザーのみがRUMメトリクスを送信する構成を採用する場合は、アプリケーションが明示的にWebクライアントバンドルにsetAwsCredentials関数で一時クレデンシャルをセットする



CloudWatch RUMのデモ

- Step1

- WEBアプリケーションの作成

- Step2

- CloudWatch RUMの初期設定
- 生成されたJSスニペットコードを埋め込む

- Step3

- WEBアプリケーションを再デプロイ

- Step4

- CloudWatch RUMのダッシュボード確認



One Observability
Workshop経由で作成済み



少し時間がかかるので
実行済み